

(仮称)さっぽろ連携中枢都市圏
圏域の中長期的な将来像と、
その実現に向けた主な取組

札幌市まちづくり政策局

1. 第1回懇談会の振り返り

主な御意見

- 北海道、日本、世界での位置付けを考えるとともに、2030年以降も見据えた、長期的な目標や圏域のあるべき姿等を共有することが必要
 - 選ばれる圏域になるためにはどうしたらよいかという視点が不可欠
 - 各都市機能の密度なども含め、空間的な視点からビジョンを検討することも必要
 - 圏域の農業や観光といった強みを活用していくことが重要
 - 圏域内の介護や医療サービスをどのように考えるかという視点が必要
-
- 「創業」「事業承継」「継業」という3つの柱で検討する視点も必要
 - 空港や港を活用した販路拡大の視点が必要
 - 新たなコンテンツをどのように提供できるかという視点が必要
 - 様々な業種におけるオープンデータの収集、分析など、ICTの活用が必要
 - Uターンでスキルアップした人が戻ってくるという視点が必要
 - 札幌市からの通勤・通学者を増やすという視点が必要

将来像へ

事業素案へ

2. 圏域全体の中長期的な将来像

圏域として取り組む3つの重点分野を設定

魅力・活力にあふれ、投資や人材を呼び込む圏域

将来を担う人材が豊富な圏域

住民の安全・安心を確保し、持続可能な行政サービスが提供できる圏域

2. 圏域全体の中長期的な将来像

【重点分野①】

魅力・活力にあふれ、投資や人材を呼び込む圏域

【現状】

- 圏域外収支はマイナス3,527億円
 - 新規求人倍率は平成25年度以降、1.0を上回る状況
 - 従業者数が多く、付加価値額が大きいのは「卸売業、小売業」、「医療、福祉」、「製造業」
 - 圏域内の多くの市町村において、「食料品製造業」や「農業」などの影響力係数が高く、「卸売業」や「運輸業」などの感応度係数が高い
 - 平成24年度以降、観光客入込客数、宿泊客延数ともに増加傾向
 - 新千歳空港、札幌丘珠空港、石狩湾新港、小樽港などの交通・物流のインフラや工場用地が集積
 - 石狩湾新港では、水素の製造・貯蔵・供給拠点化に向けた取組が進展
- ⇒ 圏域の強みである「食」、「観光」分野や、各市町村の強みを活かして、国内外から投資や人材を獲得し、お金や人が循環する強い経済圏域を目指すとともに、チャレンジできる風土を醸成し、新たな産業を生み出しやすい環境をつくる必要！！

2. 圏域全体の中長期的な将来像

【重点分野②】

将来を担う人材が豊富な圏域

【現状】

- 大学院、大学、短期大学や専門学校、研究機関、産業支援機関が集積
- 圏域人口は2015年の約260万人をピークに減少に転じ、2040年に約235万人、2060年には約190万人となる想定
- 2010年に20～24歳であった層の人口が、2015年に約1.5万人減少
- ほぼすべての産業が全国を下回る低い労働生産性

⇒ 社会や企業等のニーズに対応できる人材の育成や、教育活動の充実に向けた取組を行うことにより、地域に愛着を抱き、圏域を支える人材の育成を推進！！

2. 圏域全体の中長期的な将来像

【重点分野③】

住民の安全・安心を確保し、持続可能な行政サービスが提供できる圏域

【現状】

- 北海道胆振東部地震の発生（千島海溝で、マグニチュード9レベルの超巨大地震が今後30年以内に7～40%の確率で起きるとの政府予測）
- 札幌市を中心とした高度医療機関等の都市機能の集積
- 人口減少・少子高齢化の進展による労働力・税収の減

⇒ 災害対策の充実や、地域医療の確保など、生活関連分野における課題に対応するとともに、公共施設の相互利用など、効率的な行政運営に向けた取組を推進！！

2. 圏域全体の中長期的な将来像

【3つの重点分野】

【重点分野①】

魅力・活力にあふれ、投資や人材を呼び込む圏域

【重点分野②】

将来を担う人材が豊富な圏域

【重点分野③】

住民の安全・安心が確保され、持続可能な行政サービスが提供できる圏域

【施策の方向性】

- 国内外から投資や人材を獲得
- それらが循環する強い経済圏域
- チャレンジできる風土の醸成
- 新たな産業を生み出しやすい環境づくり

- 地域に愛着を抱き、圏域を支える人材の育成推進

- 災害対策の充実や、地域医療の確保など、生活関連分野における課題に対応
- 公共施設の相互利用など、効率的な行政運営に向けた取組を推進

- ・ 圏域内の様々な資源をつなぎ、その魅力を発信し、圏域の求心力を高める
- ・ 「ヒト」や「モノ」の流れを活性化

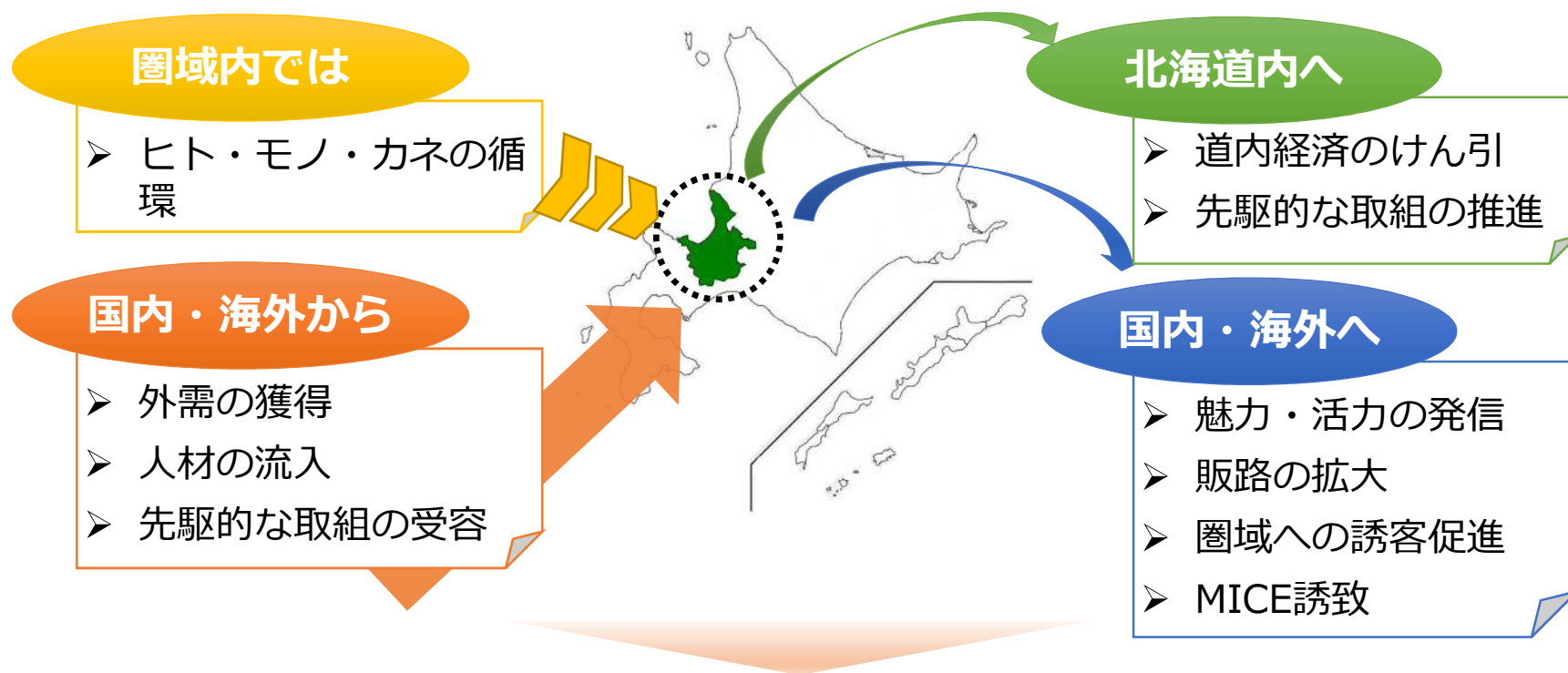
相乗効果！！

- ・ さらなる外需獲得や人材の流入
- ・ イノベーションの創出
- ・ 新技術や知見などによるサービス向上

- ・ 圏域の人口や経済規模を踏まえると、**道内経済をけん引する**という視点も**重要！！**

2. 圏域全体の中長期的な将来像

【目指すべき将来像】



「投資したくなる」「住みたくなる」… 選ばれる「さっぽろ圏域」

構成市町村がそれぞれの特徴を生かしながら、密接な連携と役割分担の下で一つの経済圏域を形成し、道内経済をけん引

3. (仮称)さっぽろ連携中枢都市圏ビジョン掲載事業素案

ア 圏域全体の経済成長のけん引

(●)は全市町村連携想定事業

取組	ビジョン掲載事業名(想定)	事業概要等(想定)
経済戦略の策定・体制整備	1 連携事業の企画、立案、効果検証等(●)	連携中枢都市圏ビジョン懇談会や連携市町村首長会議等における連携事業の効果検証や、新規連携事業の企画・立案等
戦略産業の育成	2 連携した企業誘致の推進(●)	道外企業を対象とした企業立地動向調査や企業立地補助金、産業展示会の共同出展、各市町村の単独出展時における他市町村PR等による効果的な企業誘致の推進
	3 創業の促進(●)	小中高生を対象とした起業体験プログラムの提供等、創業に向けた機運醸成の取組や起業志望者向け講座の開催、現経営者と創業希望者とのマッチングを図るなどの創業支援と連動した取組の検討等
	4 新産業の育成に向けた支援(●)	「食」「健康医療」「環境(エネルギー)」「IT」「製造」の分野を対象とした実用化・事業化の可能性が高い新製品、新技術開発等に対する補助等
	5 産学官連携に関する体制の検討	道内における産学官連携の総合相談(1次相談)窓口として設置されている「R&Bパーク大通サテライト(HiNT)」の活用方法等の検討
	地域経済の裾野拡大	6 地域資源の活用に向けた支援(●)
7 販路拡大に向けた支援(●)		札幌市内の卸売業と連携市町村の食品メーカーとの商談会の開催や、国内外の展示会等への食関連産業の出展やバイヤー招聘、海外でのフェア開催等
戦略的な観光施策	8 共同プロモーションや観光資源の活用等の推進(●)	共同プロモーションや相互PR、開催日連携等の「イベント連携」、モデルコースや周遊パス等の「ツーリズム連携」の企画・実施、観光客動態調査による効果検証等(協議会方式を想定)
	9 MICE誘致の推進(●)	インセンティブツアーやアフターコンベンション、エクスカーション等に係る視察ルートの設定や、海外MICE見本市への共同出展、新MICE施設を活用した圏域内の観光情報の提供等

3. (仮称)さっぽろ連携中枢都市圏ビジョン掲載事業素案

イ 高次の都市機能の集積・強化

(●)は全市町村連携想定事業

取組	ビジョン掲載事業名(想定)	事業概要等(想定)
高度な医療サービスの提供	10 三次救急等の高度な医療サービスの提供(●)	市立札幌病院による三次救急医療や周産期医療等の提供
高度な中心拠点の整備等	11 都心アクセス強化に係る検討	「都心アクセス強化検討に関する道央都市圏連携会議」における情報交換等
	12 丘珠空港の利用促進(●)	丘珠空港路線やアクセス等の空港関連情報の周知活動の実施
	13 札幌市都心部の再開発(●)	札幌駅交流拠点の整備等
高等教育機関の集積を活かした人材の育成	14 社会や企業等のニーズに対応できる人材の育成(●)	「地域課題」と「学生」のマッチングによる地域課題の解決策の実施・共有や、「健康医療」「IT」「経営」分野の知識を有する学生チームによるビジネスプランの作成等のプログラムの実施
その他高次の都市機能の集積・強化に関する連携	15 公共施設の相互利用や配置に関する検討(●)	市町村の区域を越えた公共施設の相互利用や配置に関する調査・研究、情報共有、協議等

3. (仮称)さっぽろ連携中枢都市圏ビジョン掲載事業素案

ウ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上(1)

(●)は全市町村連携想定事業

取組	ビジョン掲載事業名(想定)	事業概要等(想定)
地域医療	16 救急医療の維持・向上等に向けた取組の推進	持続可能な救急医療体制の整備のための情報共有等や、医療機関案内や看護師による医療救急相談(365日、24時間)を行う「救急安心センターさっぽろ」の運営等
福祉	17 保育士不足対策に関する検討	保育士確保に関する連携した取組の検討
	18 生活困窮者自立支援法の任意事業に関する情報共有等	各市町村の生活困窮者自立支援法の任意事業における取組や課題等についての情報共有や意見交換等
教育・文化・スポーツ	19 特色ある教育活動の充実に向けた取組の推進	農業体験学習の受入可能団体等のリストを作成の上、小学校等に配布
	20 文化的な教育活動の充実に向けた取組の推進	小学6年生に対する札幌コンサートホールKitaraでのオーケストラ演奏や専属オルガニストによるオルガン演奏の鑑賞機会の提供
土地利用	21 都市計画に係る情報共有	土地利用の規制・誘導、都市施設の整備、市街地開発事業等についての意見交換等
	22 雪堆積場の共同活用	札幌市管理の雪堆積場の近隣市域内への開設及び排雪の受入等
地域振興	23 にぎわいの創出(●)	札幌市各区と近隣市町村のイベントの相互PRや、地域住民の交流を促進する事業等の実施
	24 女性活躍の推進(●)	「女性応援フェスタ」のイベントの開催や、女性の起業家と創業希望者との交流会の実施等

3. (仮称)さっぽろ連携中枢都市圏ビジョン掲載事業素案

ウ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上(2)

(●)は全市町村連携想定事業

取組	ビジョン掲載事業名(想定)	事業概要等(想定)
災害対策	25 災害に備える連携の推進(●)	災害や防災に関する情報共有や、緊急時の放射線モニタリングのための採水、測定等
	26 消防の連携・協力の推進	「消防指令業務の共同運用」に向けた指令システム及び消防救急デジタル無線の共同整備、並びに次期更新に向けた検討等
	27 災害時における連携の推進(●)	各協定に基づく、廃棄物処理、消防、上下水道に関する災害における応援
環境	28 廃棄物対策における連携の推進	廃棄物問題についての情報交換等
	29 廃棄物等の共同処理	し尿や下水の受入・処理
	30 再生可能エネルギーの圏域内導入拡大に係る検討	再生可能エネルギー由来のCO ₂ フリー水素サプライチェーン(製造、貯蔵、利用)の構築に向けた実証事業の検討や、効果・課題の検証、情報共有等
ICTインフラ整備	31 遠隔会議システム等の検討・導入(●)	連携市町村の企画部門や事業部門において利用可能な遠隔会議システムの導入・運用
	32 オープンデータプラットフォームの共同利用等(●)	各自治体が提供するデータの利用拡大・多様化に向けた札幌市ICT活用プラットフォームの共同利用や、オープンデータ等に係る職員のスキル向上に関する取組の実施等
連携による地産地消	33 圏域内農産物の消費促進(●)	圏域内農産物等のリストを作成し、学校給食におけるリストとして情報共有

3. (仮称)さっぽろ連携中枢都市圏ビジョン掲載事業素案

ウ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上(3)

(●)は全市町村連携想定事業

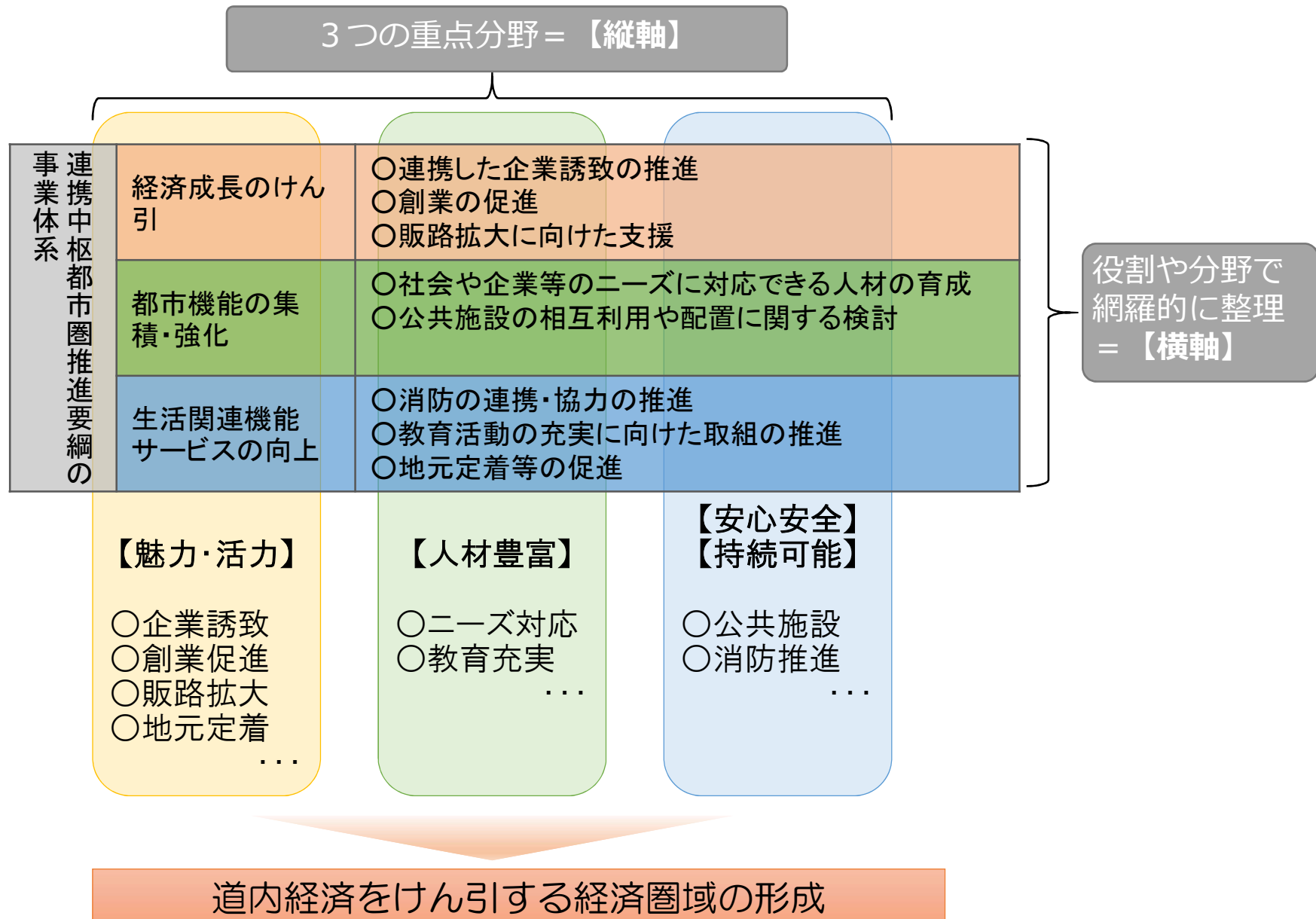
取組	ビジョン掲載事業名(想定)	事業概要等(想定)
交流・移住促進	34 地元定着等の促進(●)	首都圏における合同説明会や、圏域内の様々な仕事を実際に体験できる高校生向けイベント、シニア層を対象とした体験付き仕事説明会の開催等
	35 圏域外からの移住促進(●)	道外における移住イベントの開催や、SNS等を活用した情報発信等
	36 「札幌Uターン就職センター」の広域的利用(●)	「札幌Uターン就職センター」(東京)の利用対象の圏域を含む北海道全域への拡大や、連携市町村所在企業への就職活動(インターンシップ、採用面接)にかかる交通費の一部補助等
その他結びつきやネットワークの強化に関する連携	37 企業による住民活動の促進(●)	札幌市が包括連携協定を締結している企業との協定を圏域全体に拡大
人材の育成	38 職員研修の合同実施等(●)	新規採用職員後期研修、図書館司書研修、政策マーケティングリサーチ研修、水道事業体合同技術研修、下水道技術基礎研修等の実施
職員等の交流	39 職員交流(●)	市町村間における職員の交流
その他圏域マネジメント強化に関する連携	40 航空写真の共同撮影	家屋異動状況調査等のための航空写真の共同撮影(3年に1回)の実施(2022年以降の実施を想定)

3. (仮称)さっぽろ連携中枢都市圏ビジョン掲載事業素案

【圏域の強み・特徴を活かした事業】

強み・特徴	ビジョン掲載事業名(想定)
食・農業	<ul style="list-style-type: none">・新産業の育成に向けた支援・地域資源の活用に向けた支援・販路拡大に向けた支援・圏域内農産物の消費促進
観光	<ul style="list-style-type: none">・共同プロモーションや観光資源の活用等の推進・MICE誘致の推進
工業団地・交通インフラ	<ul style="list-style-type: none">・連携した企業誘致の推進・販路拡大に向けた支援
知の集積	<ul style="list-style-type: none">・産学官連携に関する体制の検討・社会や企業等のニーズに対応できる人材の育成
再生可能エネルギー	<ul style="list-style-type: none">・再生可能エネルギーの圏域内導入拡大に係る検討

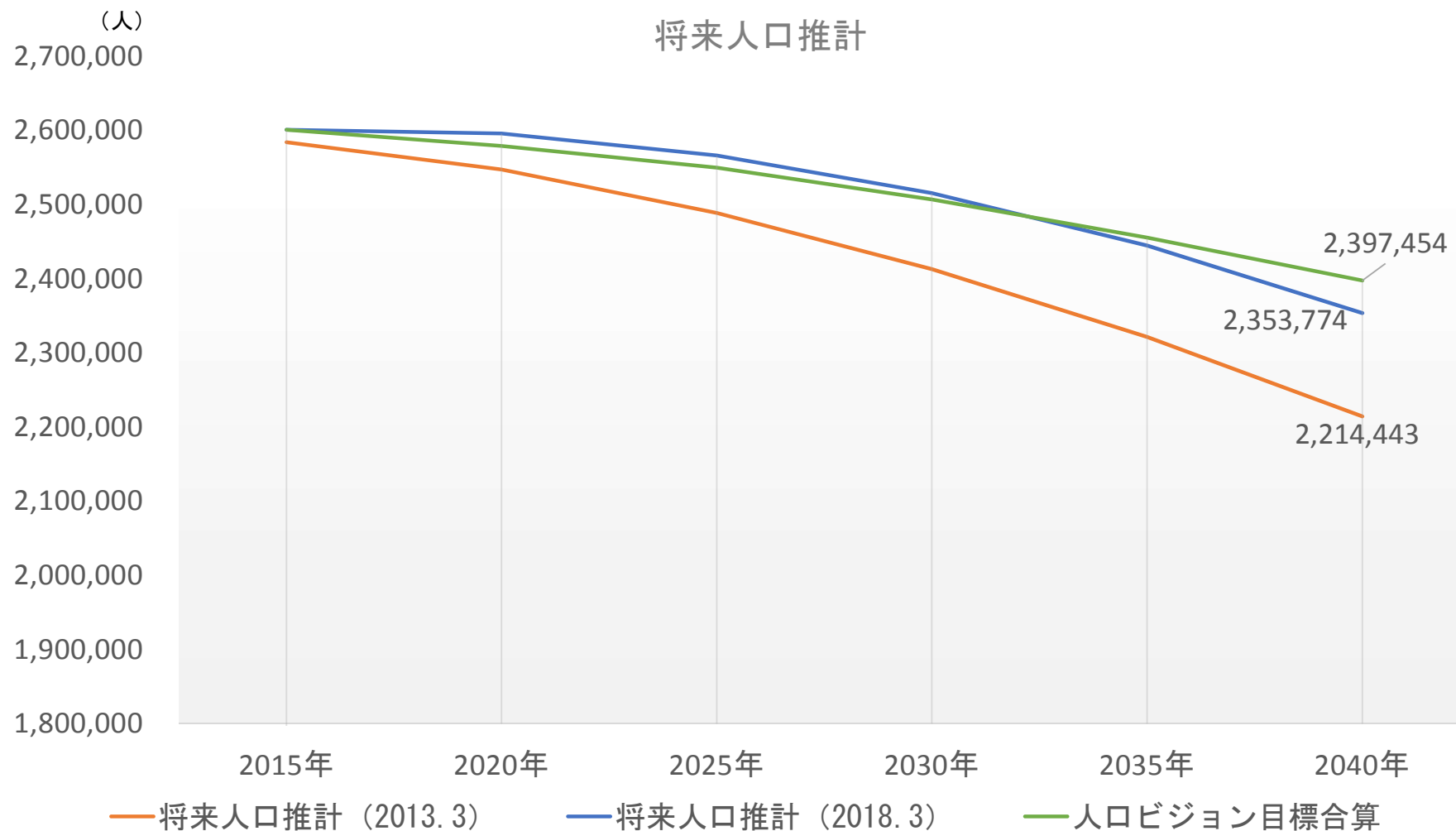
4. 事業体系(イメージ)



5. (仮称)さっぽろ連携中枢都市圏における将来人口推計の比較

【人口の将来見込み】

- ・本圏域の将来人口について、国立社会保障・人口問題研究所が2013年3月に示した推計、同2018年3月の推計、圏域内の各市町村において策定する人口ビジョンの目標の合算、を比較しました。
- ・2040年時点においては、2018年3月推計と人口ビジョン目標合算の差は、およそ4.4万人となっています。



6. 今後のスケジュール

スケジュール(想定)

